

2018年
CTG

建交労道本部夏季闘争速報

No. 7 / 2018年7月2日

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL. 011(711)7377
FAX. 011(711)7388
e-mail/kenkoro-do@nifty.com

第36回道本部委員会

組織の増勢で全国大会・道大会を なくてはならない建交労の存在

7月1日に第36回道本部委員会を開催し、2018年春闘時期のとりくみの到達点をふまえて、第20回全国大会（9月1～3日）、第19回道本部大会（10月14～15日）を組織の増勢の中で迎えようと思統一しました。委員会には道本部委員、執行部など36人が出席し、議長団に函館支部・河合委員と釧路支部・東雲委員を選出しました。道本部の森国委員長はあいさつで、6月15～17日の「建交労フェスタ」成功のために奮闘した仲間に敬意を述べるとともに「安倍政権はワールドカップサッカーの間隙をぬって『働かせ方改悪法案』を強行成立させたが、47もの附帯決議がつけられ、大事なことは政令で政府が勝手に決められる欠陥法だ。ウソとゴマカシの安倍政権のもとで貧困と格差は増大しており、組合員を増やして要求と運動を前進させよう」と強調しました。

提案された議案にもとづく討論では、「1～2月の健康相談会に参加した24人の中で22件の労災申請を出している。夏にも相談会を実施する」（函館）、「春闘で会社との粘り強い交渉を続けてきた中で要求を前進させている」（函館合同）、「他の支部の知恵と力を借りて労災認定や残業代未払の労働相談を解決して組合員が増えた」（北空知）、「最高裁が非正規労働者への差別について判決を出したが、手当については不合理としながらも、継続雇用労働者についての差別を容認した。正規労働者との間の差別を助長するものだ」（札幌地域）などの発言がありました。俵書記長はまとめて「討論では職場でのたたかいでも地域でも、建交労はなくてはならない存在だということが強調された。だからこそ、お互いに力を合わせて組合員を拡大し、建交労のたたかいと組織を次につないでいかなければならない。昨年の大会で決定した『純増150人』の目標を達成して全国大会・道大会を迎えよう」と述べ、最後に森国委員長の「団結がんばろう」で締めくくりました。

反核トラックキャラバンのカンパ 26,680円

第36回道本部委員会では、青年部から「反核トラックキャラバン」（建交労全国青年部が核兵器廃絶のために毎年、東京から被爆地・広島にむけておこなっている行動）へのカンパの訴えがあり、参加者から26,680円が寄せられました。道本部青年部としてのカンパ1万円を加えて全国青年部に送ります。

函館運送で夏季一時金の回答

本採用が1.718か月分=374,821円

前年比+0.057か月=12,248円

函館運送支部は6月27日に会社から夏季一時金の回答を受けました。本採用が1.718か月分（374,821円／前年比+0.057か月・12,248円）、58歳到達者が1.374か月分（346,588円／前年比+0.045か月・18,471円）、東京嘱託が1.374か月分+14,000円（309,539円／前年比+0.045か月・14,727円）、臨時従業員が1.203か月分+17,000円（197,500円／前年比+0.04か月・9,203円）です。